



インストラクション

J06700

2018-10-25



COOLANT PUMP REPLACEMENT KIT (クーラントポンプの交換用キット)

概略

キット番号

26800107

適合モデル

モデルの適合性については、純正P&Aカタログまたはwww.harley-davidson.comのパーツとアクセサリーに関するセクション(英語版のみ)をご覧ください。

取り付け要件

- ・ スプリングクランプが届きにくい場合は、24INCHHOSECLAMP TOOL (24インチホースクランプツール) (部品番号:HD-52004) を使用します。
- ・ クランプ(部品番号10344)HOSE CLAMP PLIERS (ホースクランププライヤー) (部品番号:HD-41137)を圧着することが必要です。
- ・ ハーレーダビッドソンはMATCOクーリングシステムフィラー (部品番号:MCR102A)およびCOOLING SYSTEM ADAPTER (クーリングシステムアダプター) (部品番号:MPT10128)、または同等品を、真空テストやクーラントシステムの補充に使用することを推奨しています。

キット内容

「図19」および「表1」を参照してください。

▲ 警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルの車両のサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

準備

▲ 注意!

クーリングファンはイグニッションスイッチがオフであっても自動的に作動します。ファンブレードに手を近づけないでください。回転中のファンブレードに触れると、軽度または中程度の傷を負うことがあります。(00093a)

1.

注記

以下の手順については、サービスを実施する年式/モデルの車両のサービスマニュアルを参照してください。

メインヒューズを取り外します。

2. クーリングシステムを排出します。
3. フェアリングロアを両方とも取り外します。
4. クーラントポンプとサーモスタットを取り外します。
5. 図1を参照してください。クランプ(2)とホース(1、3、5、6)を取り外します。
6. ブラケット(4)を取り外します。

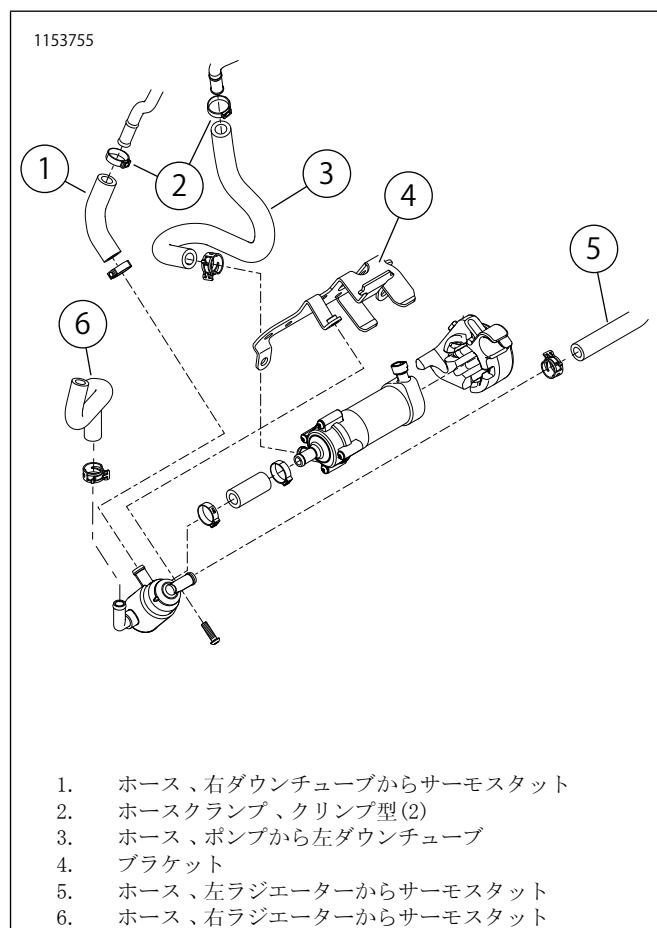


図1。クーラントホースとブラケット

取り付け

新品のポンプ構成部品のサブアッセンブル

1. クーラントポンプから輸送用プラグを取り外します。

2. 図2を参照してください。新品のグロメット(2)を新品のブラケット(9)に取り付けます。

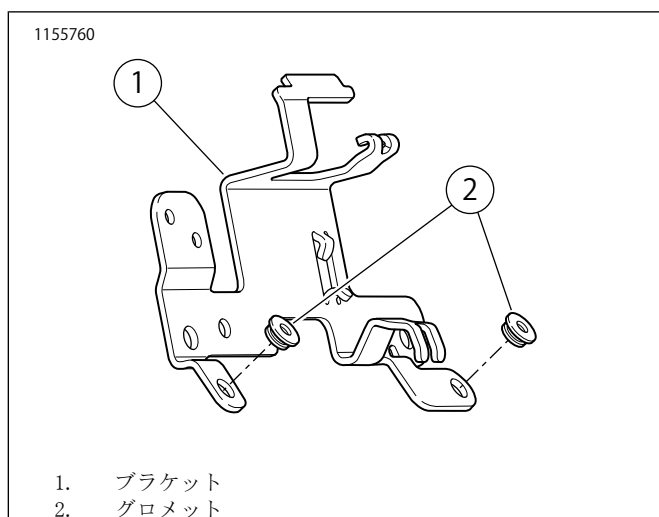


図2。グロメット

3. 図3を参照してください。ポンプ[235A] (3)を上に向けた状態で、新品のポンプ(4)をブラケット(1)に配置します。
4. ラバーポンプアイソレーターバンド(5)にボスを合わせ、しっかりと装着し、ブラケットのアップータブ(2)とロータブ(6)の間に置きます。

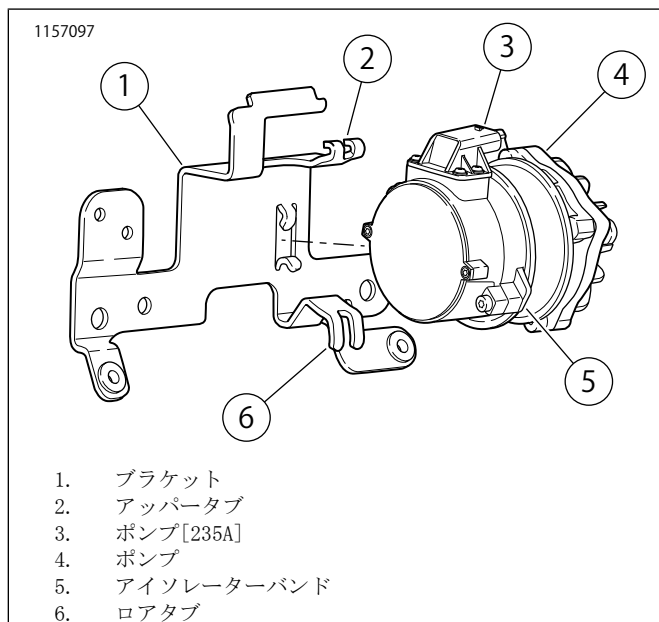


図3。ポンプとブラケット

5. 図4を参照してください。新品のストラップアッセンブリブラケット(3)の「T」部分を新品のブラケット(1)のアップータブ(2)にスライドさせます。
6. ブラケットに新品のポンプを取り付けます。

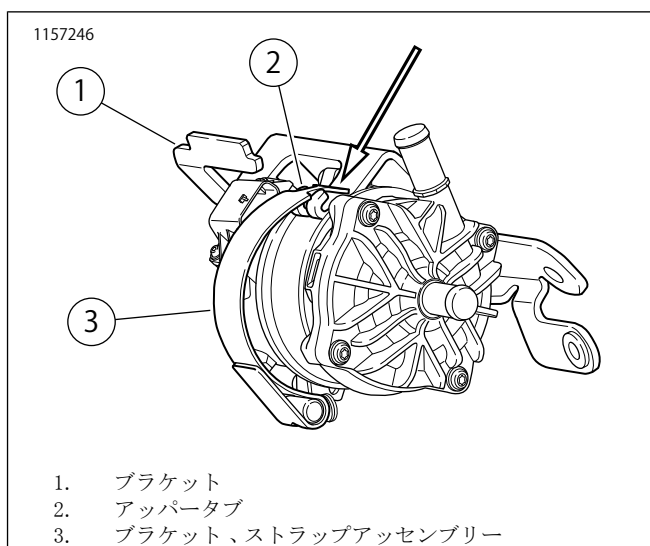


図4。トップブラケットストラップ

7. 図5を参照してください。ストラップアッセンブリブラケット(1)をアイソレーターバンドにしっかりと装着します。ロータブ(2)の後ろのクランプスクリュー(3)を回転させます。締め付ける。

トルク: 5.4-6.78 N·m (48-60 in-lbs)

注記

必要な場合、クランプスクリューを完全に緩めてもかまいませんが、取り外さないでください。

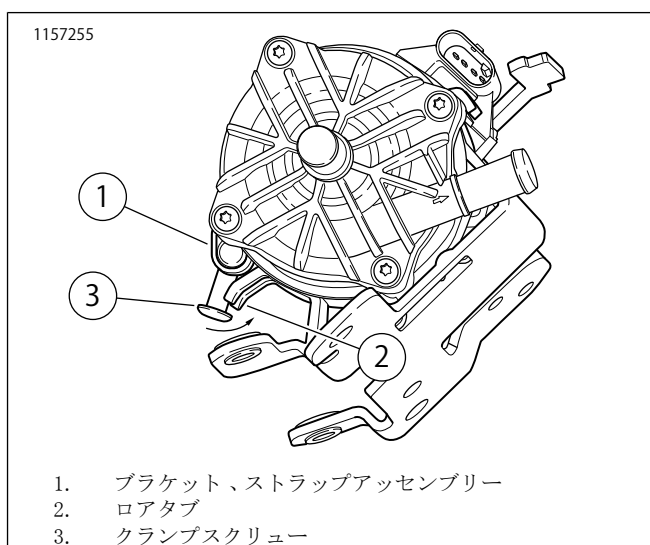


図5。ボトムブラケットストラップ

8. 図19を参照してください。ポンプからつなげるエンジンホース(8)とクランプ(1)を位置づけます。
9. 図6を参照してください。ポンプアウトレット(3)にポンプからつなげるエンジンホース(1)を取り付けます。
 - a. 矢印(4)が上向きであるポンプアウトレット(3)を位置づけます。
 - b. ポンプアウトレット上部にポンプからつなげるエンジンホースとクランプを配置します。

- c. ポンプからつなげるエンジンホースとクランプを両方ともアウトレットベースにスライドさせます。

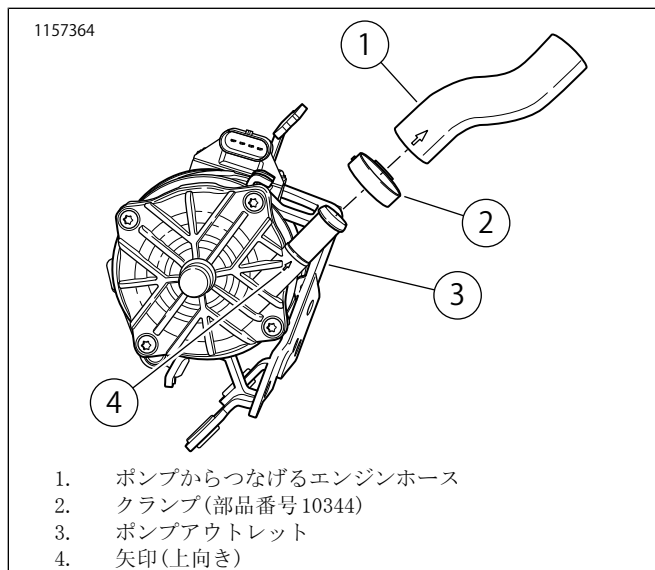


図6。ポンプからつなげるエンジンホース

10. 図7を参照してください。ポンプからつなげるエンジンホースを位置合わせします。
11. クランププライヤーツールを使用して、ホースをポンプアウトレットに固定します。
- 専用工具: HOSECLAMPPLIERS (ホースクランププライヤー) (HD-41137)

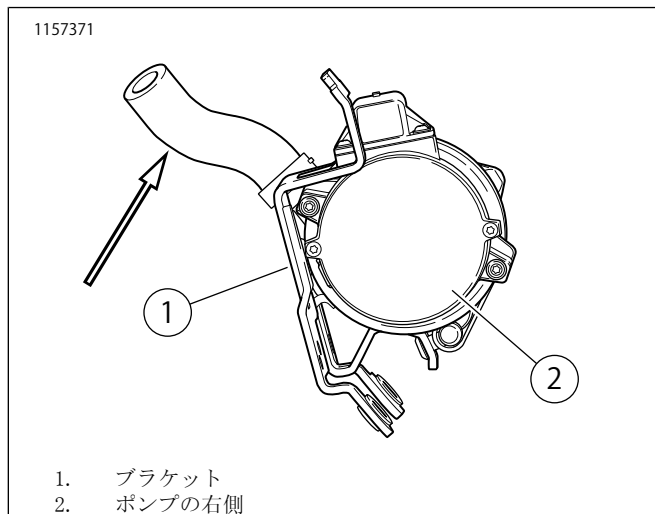


図7。ポンプからつなげるエンジンホースの向き

12. 図8を参照してください。左ダウンチューブ(2)に新品のポンプアセンブリーを取り付けます。
- a. 左クーラントダウンチューブに新品のホースクランプ(1)を配置します。
- b. ポンプアセンブリー(4)を所定の位置に持ち上げます。ポンプからつなげるエンジンホースを左ダウンチューブの所定の位置に配置します。

注記

クランプ(1)がフレームダウンチューブに接触しないことを確認します。

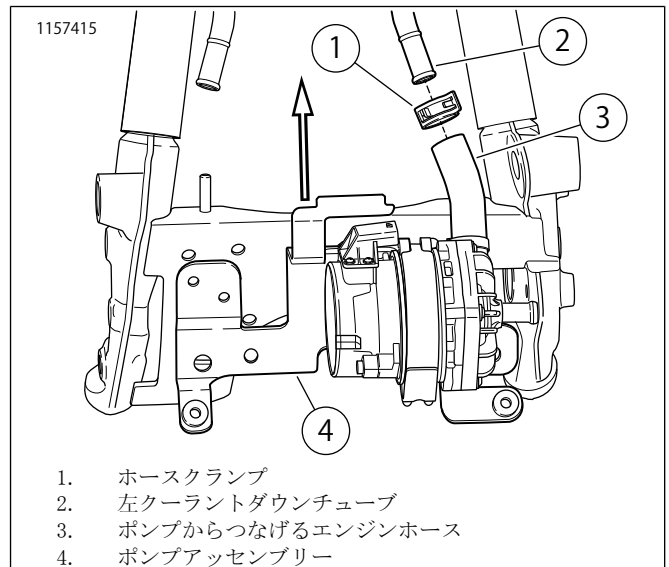


図8。ポンプアセンブリーからつなげる左クーラントダウンチューブ

13. 図9を参照してください。ポンプアセンブリーをフレーム(3)に取り付けます。
- a. 新品のスクリュー(4)を取り付けます。締め付けます。
- トルク: 27.1-29.8 N·m (20-22 ft-lbs)
- b. クランプツールを使用して、ポンプからつなげるエンジンホースにクランプ(2)を位置づけます。ホースの端から約6.4 mm (0.25 in)の箇所にクランプを配置します。
- 専用工具: 24INCHHOSECLAMPTOOL (24インチホースクランプツール) (HD-52004)

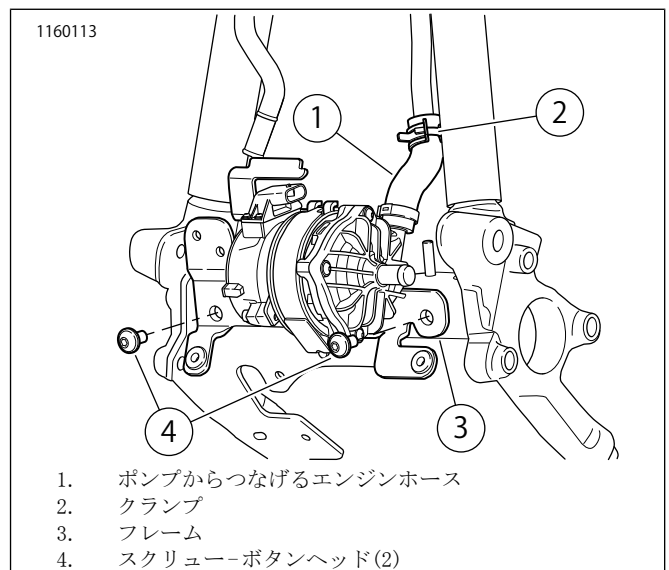


図9。ポンプアセンブリーのフレームへの取り付け

14. 図10を参照してください。新品のハーネス(2)を取り付けます。

- a. クーラントポンプ[235]を接続します。
- b. クーラントポンプの右側に余分なワイヤーを取り回し、緩めたままにしておきます。

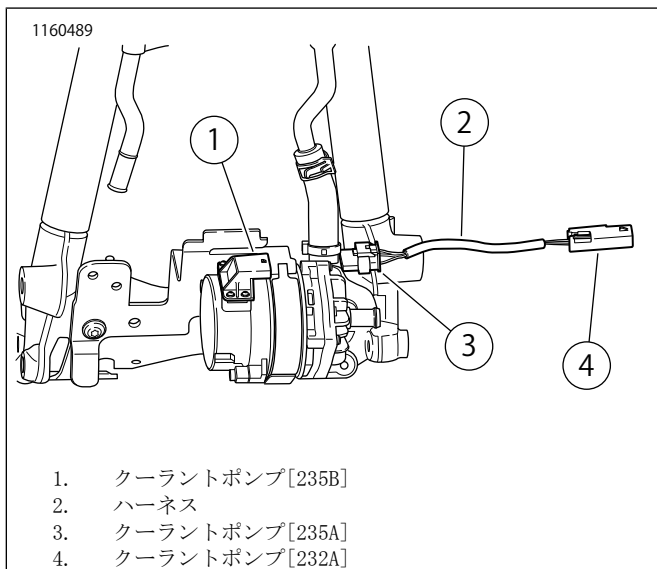


図10。新品のクーラントポンプハーネス

左ロアフェアリングのサブアッセンブル

1. エンジンからつなげる左ラジエーターホースを取り付けます。
 - a. 図19を参照してください。エンジンからつなげる左ラジエーターホース(7)、ホースクランプ(4)、ホースクランプ(1)を位置づけます。
 - b. 図11を参照してください。左ロアラジエーターアウトレットにホースクランプ(3)を配置します。
 - c. 左ロアラジエーターアウトレットにエンジンの左側からつなげる左ラジエーターホースを取り付けます。
 - d. 右ダウンチューブ(1)にホースクランプ(5)を配置します。
 - e. 右ダウンチューブにエンジンの右側からつなげる左ラジエーターホースを取り付けます。
 - f. 図12を参照してください。エンジンからつなげる左ラジエーターホース(3)を、ロアタブ(1)とブラケット(2)の間に配置します。
 - g. 図11を参照してください。クランプツールを使用して、エンジンからつなげる左ラジエーターホースにクランプ(5)を位置づけます。ホースの端から約6.4 mm (0.25 in)の箇所にクランプを配置します。

注記

クランプ(5)がフレームダウンチューブに接触しないことを確認します。

- h. クランププライヤーツールを使用して、エンジンからつなげる左ラジエーターホースにクランプ(3)を位置づけます。ホースの端から約6.4 mm (0.25 in)の箇所にクランプを配置し、クランプを圧着します。

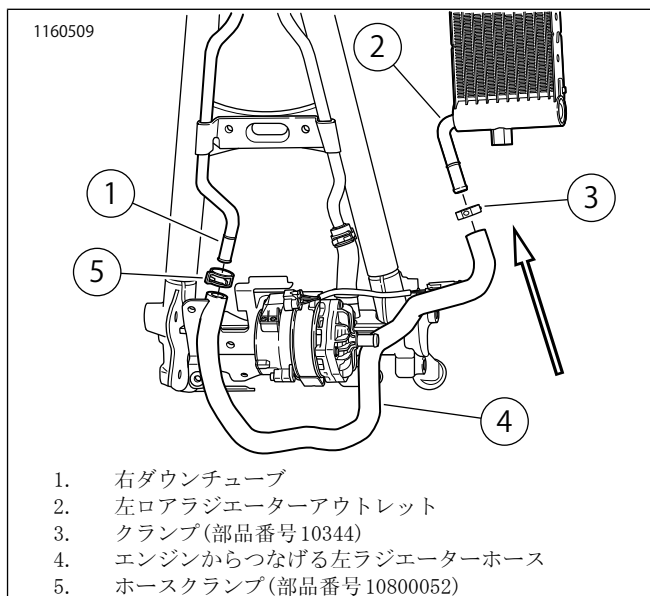


図11。エンジンからつなげる左ラジエーターホース

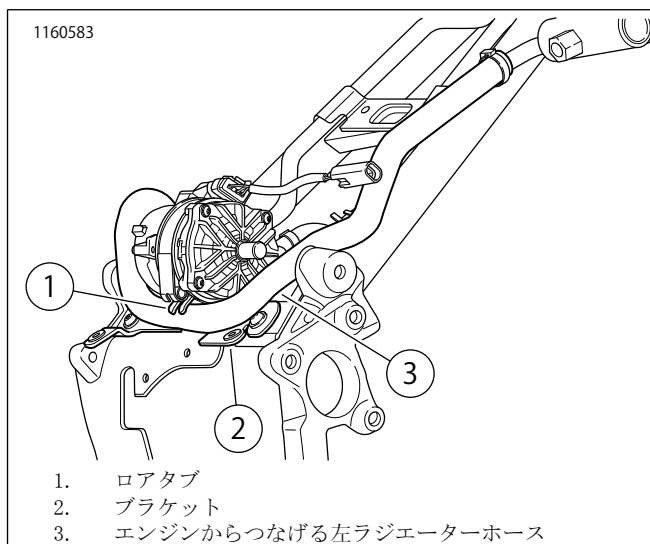


図12。エンジンからつなげる左ラジエーターホースの配置

16. 表1を参照してください。ケーブルストラップ(13)を位置づけます。
17. 図13を参照してください。ラジエーターのファン配線とエンジンクーラント温度(ECT)センサー配線をクーラントホースに固定します。ケーブルストラップを3点で配置します。

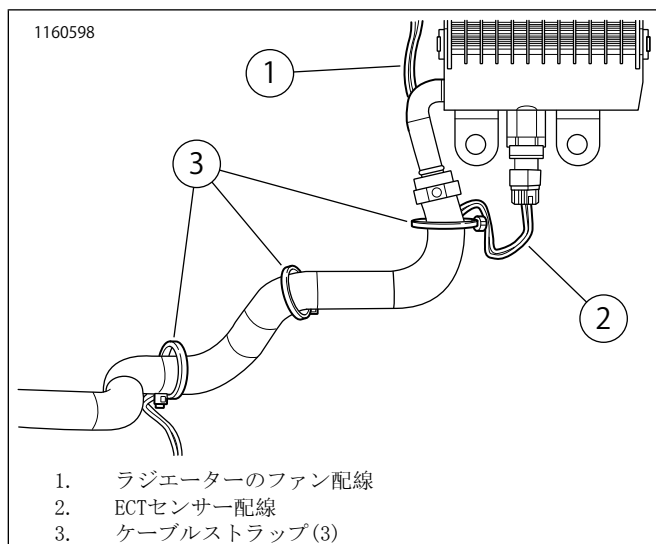


図13。左ファン/ECTセンサーの配線のホースへの固定

右ロアフェアリングのサブアッセンブル

1. 図19を参照してください。右ラジエーターからつなげるポンプインレットホース(6)、クランプ(1)、ホースクランプ(4)を位置づけます。
2. 図14を参照してください。右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースを取り付けます。
 - a. クーラントポンプインレットにホースクランプ(2)を配置します。
 - b. 右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースをクーラントポンプインレットに取り付けます。

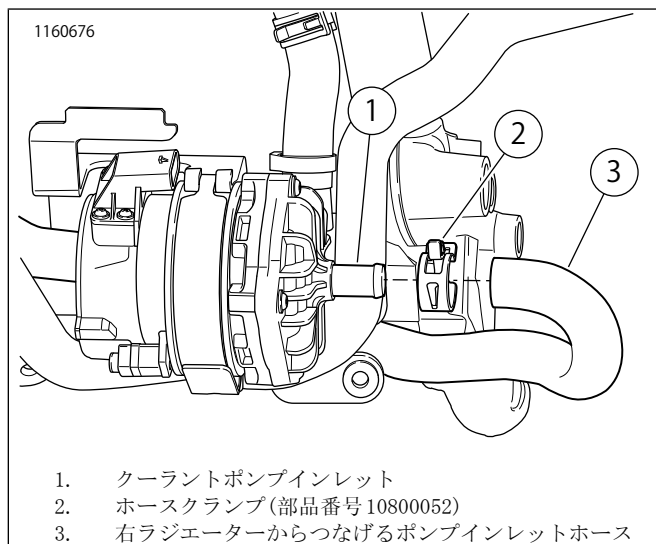


図14。クーラントポンプインレットホース

20. 図15を参照してください。右ラジエーターからつなげるポンプインレットホース(1)を左ブラケットグロメット(2)およびエンジンからつなげる左ラジエーターホース(4)の後ろに配置します。

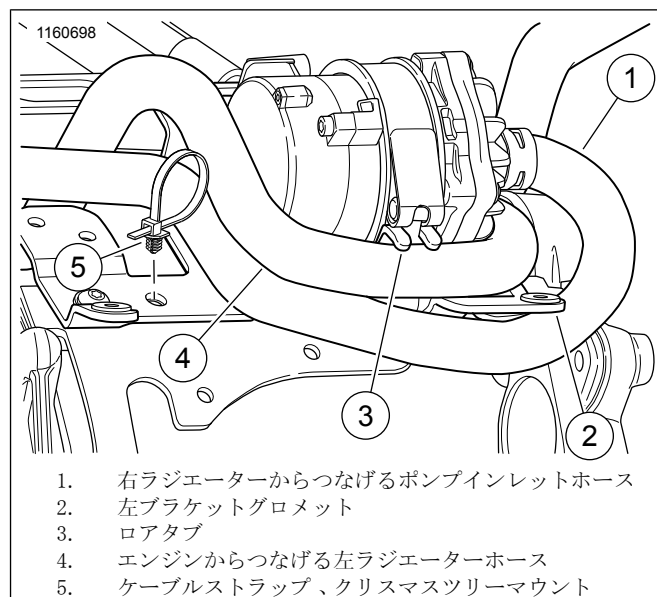


図15。右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースの取り回し

21. 右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースをアウトレットチューブに取り付けます。
 - a. 図16を参照してください。クランプ(2)を右ラジエーターアウトレットチューブ(1)に配置します。
 - b. 右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースをアウトレットチューブに取り付けます。
22. クランプを右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースに取り付けます。
 - a. 図15を参照してください。ホースが正しく配置されていることを確認します。
 - b. 図14を参照してください。クランプツールを使用して、右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースにクランプ(2)を位置づけます。ホースの端から約6.4 mm (0.25 in)の箇所にクランプを配置します。
 - c. 図16を参照してください。クランププライヤーツールを使用して、右ラジエーターからつなげるポンプインレットホースにクランプ(2)を位置づけます。ホースの端から約6.4 mm (0.25 in)の箇所にクランプを配置し、クランプを圧着します。

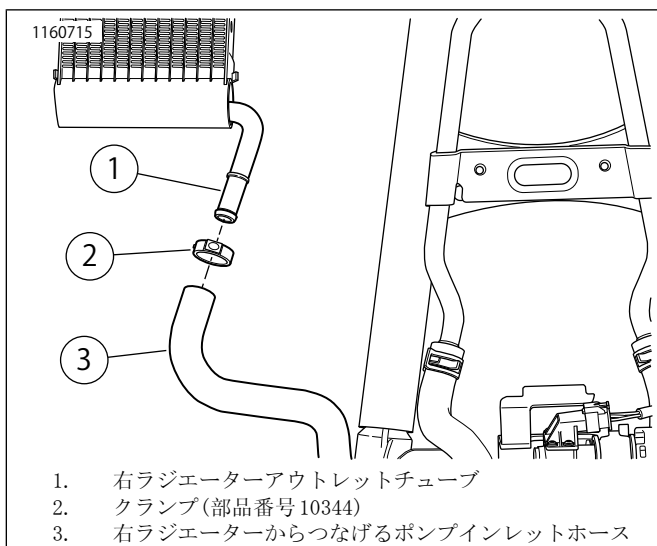


図16。右ラジエーターホース

23. 図17を参照してください。ラジエーターのファン配線(1)およびオーバーフローベントホース(2)をクーラントホース(3)に固定します。ケーブルストラップ(4)を3点で配置します。

注記

ケーブルストラップ(4)を取り付ける際は、オーバーフローベントホースがケーブルストラップの圧力でつぶれていないことを確認してください。

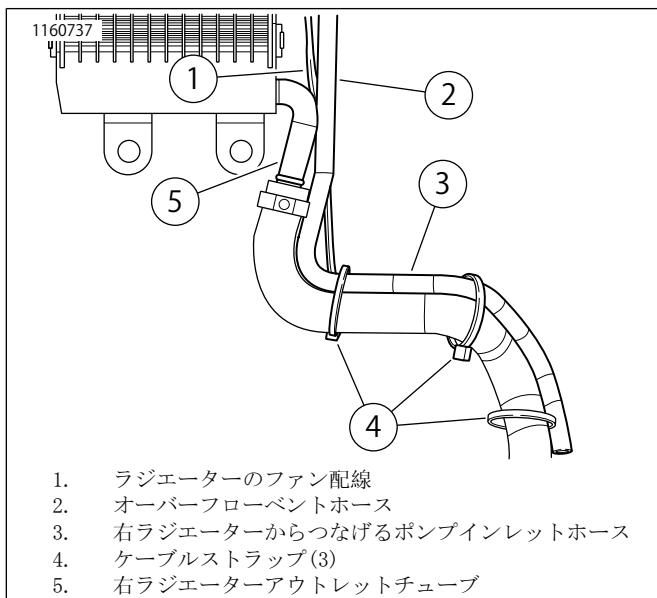


図17。右ファン配線およびオーバーフローベントのホースへの固定

完成

1. 注記

以下の手順については、サービスを実施する年式/モデルの車両のサービスマニュアルを参照してください。

ポンプ[232A]をメインハーネスに接続します。

- a. 図18を参照してください。ウォーターポンプハーネスが正しく取り回されていることを確認します。
2. 図15を参照してください。ポンプハーネスをケーブルストラップ(5)で固定します。
3. ポンプカバーを取り付ける。
4. フェアリングロアを両方とも取り付けます。
5. メインヒューズを取り付けます。
6. クーリングシステムを補充します。
7. 車両を試乗してください。
8. 漏れがないか点検する。

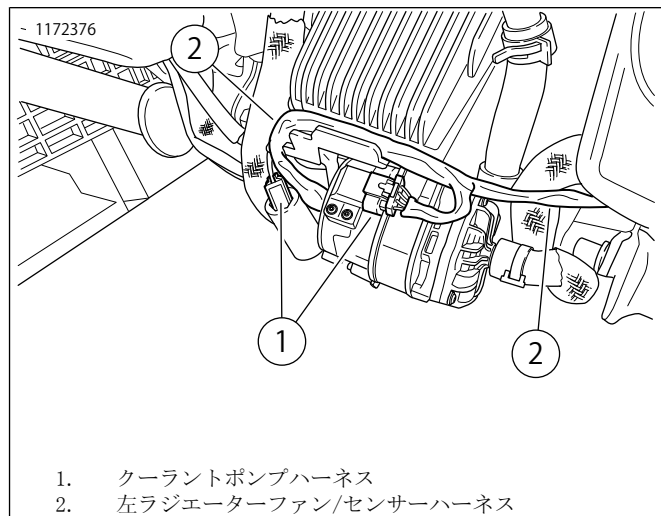


図18。ウォーターポンプハーネスの取り回し

1153709

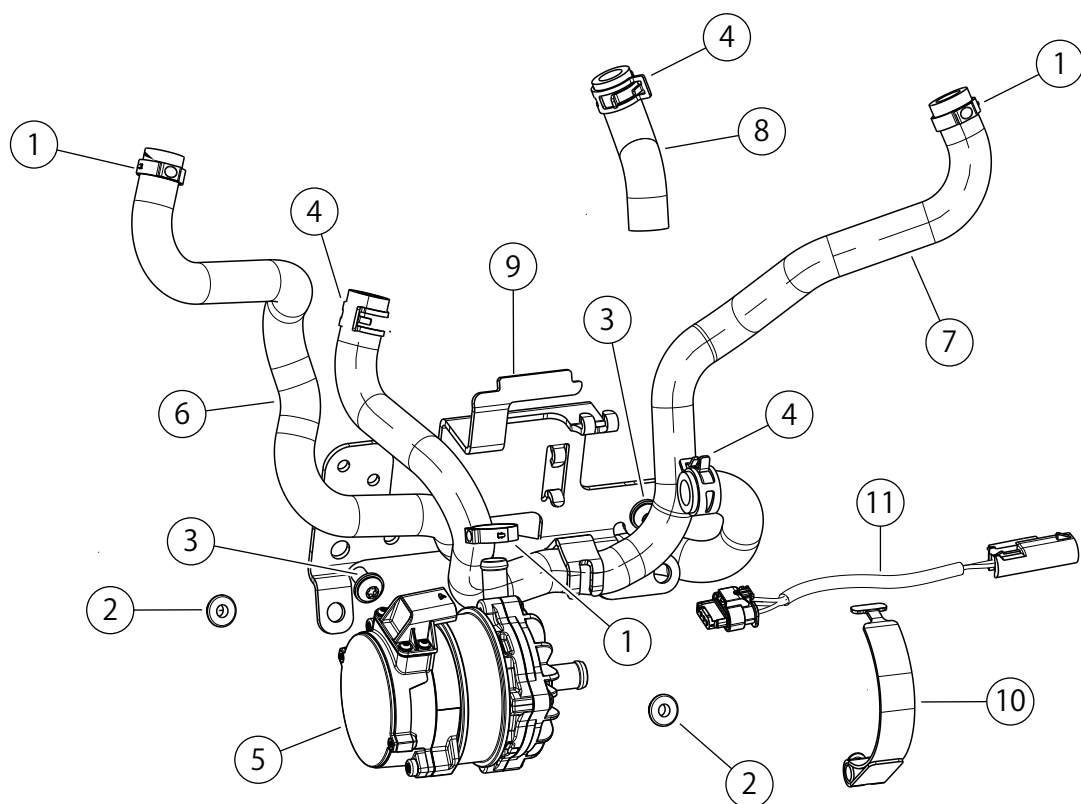


図19。交換用パーツ: クーラントポンプシステムキット

表1。交換用パーツ: クーラントポンプシステムキット

アイテム	数量	説明	部品番号
1	3	ホースクランプ-ブラック	10344
2	2	グロメット	11692
3	2	スクリュー-ボタンヘッド	4266A
4	3	ホースクランプ	10800052
5	1	クーラントポンプ	26600050
6	1	クーラントホース-右ラジエーターからポンプインレットへ	26900131
7	1	クーラントホース-エンジンから左ラジエーターへ	26900132
8	1	クーラントホース-ポンプからエンジンへ	26900146
9	1	ブラケット-クーラントポンプ	62800032
10	1	ブラケット-ストラップアッセンブリー	62800041
11	1	ハーネス-クーラントポンプ	69201960
12	2	ワッシャー-ラバー (非表記)	7415A
13	8	ケーブルストラップ (非表記)	10006
14	1	ケーブルストラップ-クリスマスツリーマウント (非表示)	10177